

本当の教えに出会うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

# 無碍の一道 第45号

発行:2015年12月5日  
発行者:浄土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺  
〒739-0147 副住職 天野英昭  
東広島市八本松西6丁目10番1号  
☎・FAX 082-428-0160・082-428-1360

## 第49回 歎異抄輪読会のご案内

日時 12月17日(木) 19:00~20:30頃

場所 天龍寺本堂

講師 松田 正典先生(広島大学名誉教授)

費用 500円

参加者 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です

## 除夜会並びに元旦会

日時 12月31日(木) 23:30~24:30頃

場所 天龍寺 本堂

## 御正忌(おたんや)法座

日時 1月19日(火)

ご講師 牛尾 かおり師(広島市安佐北区 明光寺坊守)

朝席 9時~11時頃

昼席 13時~15時頃



置かれた場所（ところ）で咲きなさい。



この言葉をお聞きになられた方も多いと思いますが、この言葉はノートルダム清心女子大学理事長で敬虔なクリスチャンの渡辺和子先生の有名な言葉です。渡辺先生は、この件もご存じの方が多いと思いますが、2・26 事件で命を落とされました陸軍教育総監の渡辺錠太郎氏のお嬢様です。お父様が命を落とされた時には、その部屋にいらっしゃり、壮絶な幼少期を過ごされた方です。

先生のこのお言葉をお聞きした時に、私は「随縁（<sup>すいえん</sup>意味・・・ご縁に従って生きていく。）」という言葉を出しました。私たちは、様々なご縁により、様々な環境・状況が与えられます。私の人生を振り返っても与えられる環境は、自分の望む環境であったり、自分にとって望まない環境であったりであったと思います。

少し高飛車な言い方ですが、自らの意思等で、自分の願う環境を得たいと思い、色々と自分なりに努力（努力とは言えないかも知れません。）をしてきましたが、その多くは、自分の願いとは違う環境であったかと思えます。恥ずかしい事ですが、その与えられた環境下で、不平・不満をたらたらと言いながら、自分なりに生きてきたのではないかと思う事があります。

以前も申したと思いますが、崇徳高等学校に勤務しておりました時、私の隣席の生物の先生は、蓮の花の研究をしておられました。蓮の花は、田んぼで咲きますが、彼が昼の休憩時間に「蓮の花は、綺麗な田んぼより、汚い田んぼの方が綺麗な花が咲く・・・」と言ってくれたことを今でも鮮明に覚えております。

日々出会う環境・状況は、その多くが自分の望まない状況等であり、さらに同じ状況等であったとしても自分の機能の衰え、親しい人との別れ等により、その状況も一度に自分にとっては辛い・苦しい状況等になるのではないかと考える事もあります。

毎日不安・恐怖にかられ、時には大きな悲しみに出遭い、さらには絶望感・失望感・喪失感を感じる事等に出遭いながら、与えられた自らの人生という土壌が濁れ・汚れ、その中から蓮の花の如く自分なりの花が咲いて行くのかと思う事もあります。

言葉で述べる事は簡単ですが、日々出遭う「順縁」「逆縁」も「南無阿弥陀仏」のご縁として、この境涯で年齢・自分の身体状況、様々な状況に応じて、自分なりの花が咲かせられたらと願うところでもございます。

20代・30代・・・60代・70代・80代・90代等と花の咲き方・種類も違うかもしれませんが、タンポポ・バラ・桜・梅等、それぞれにその美しさがあると思います。

報恩講に多数ご参詣をいただきありがとうございました。



11月16日（月）に当山で報恩講並びに秋季永代経法座を務めさせていただきました。その際には、多数のご参詣をいただき、さらには11月15日～11月16日にかけて、大変お忙しい中、仏教壮年会のみなさまをはじめ、近隣の方々のお手伝い・準備をしていただきました事に対しまして、書面をお借りしまして感謝申し上げます。

この度の報恩講では、昨年裏山の木を伐採していただき、その時に出来ましたドングリの木などにシイタケ・ヒラタケ・ナメコの菌を植え付けていただきました。伐採の時などに『シイタケ等が生えたらみんなで食が出来たらいいな。また、多く取れたならば天龍寺にご参詣をしていただいた方々にお出し出来たらいいな。』等々と言っておりました。その事がこの度の報恩講で実現しました。仏教壮年会の方が、報恩講当日シイタケを庭で焼いて下さり、みなさまにお出し出来た事があります。あらためて天龍寺仏教壮年会の方々も含め多くの方々に感謝したことです。